

414
A1757



新聞抄記
一千八百七十七年八月八日横濱ジャッパンデーリー、ヘラ

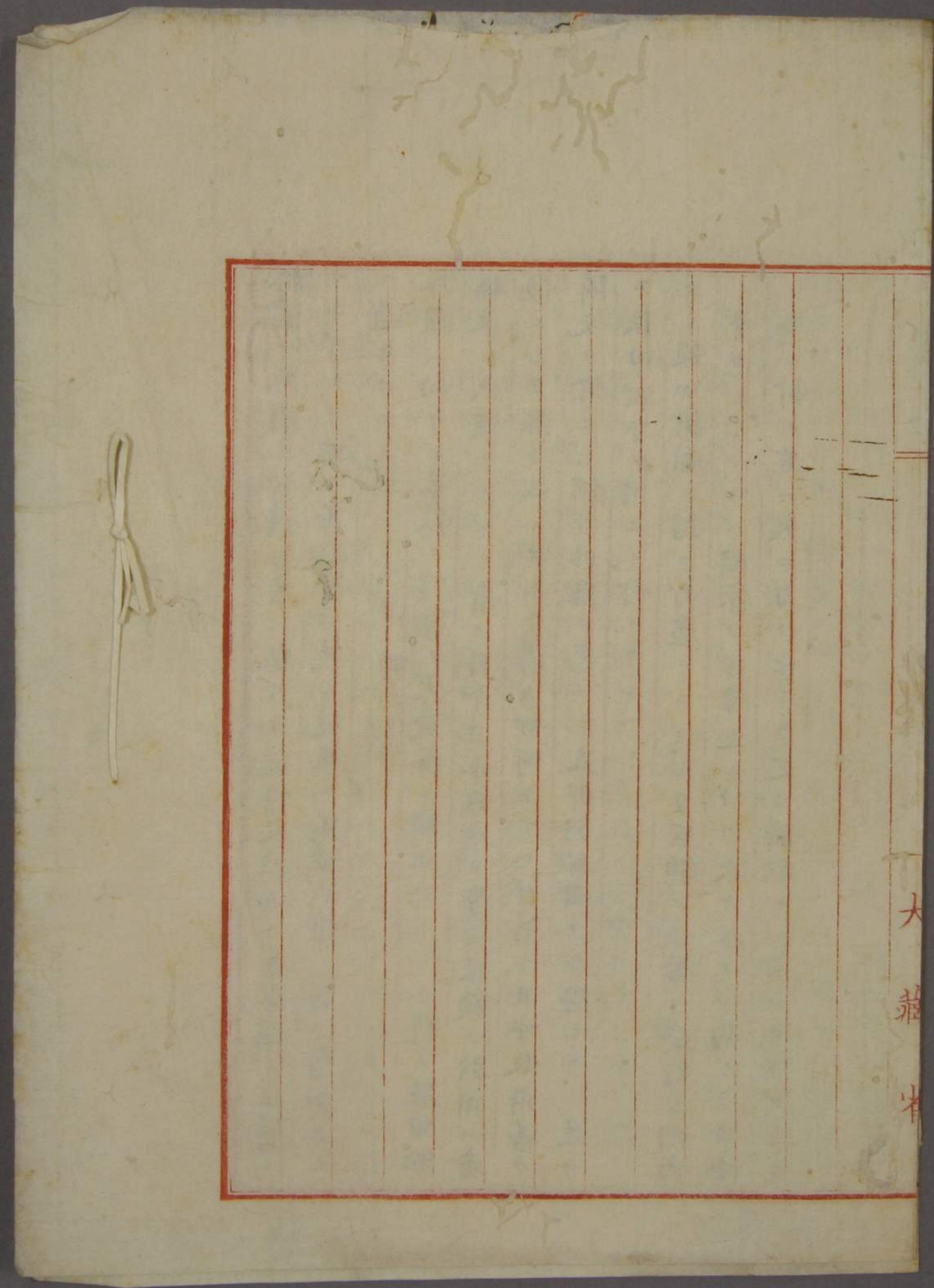
大正十一年四月

政府紙幣四千万円ヲ発行セント欲スル風説載セテ報知新聞ニ見エタリ然レモ冀クハ其説ノ實ナラザラン一ヲ望ムナリ若シ果シテ現今通用ノ紙幣ノ外猶ホ該額ノ紙幣ヲ発行スルマラバ札ノ減價スル言フ可カラザルニ至ルベシ現今旧発行ノ紙幣減價スル百ニ付キ五ノ矩合ナルヲ見レバ其人民商業上ノ需要ニ於ケル既ニ超過スルヲ知ルベシ然リ而シテ這回ノ発行高ヲ推算スレバ現今通用ノモノヨリ増加スレ一百万ニ付キ四十以上ノ矩合ナリ見テ返行セル紙幣凡一億万ヲ指シテ四十以上ノ増加ト然レバ該通用紙幣ノ價格又減スル實ニ莫大ニシ



テハニツク紙幣ノ價格下落ニ付キ銀行高ヲ生シ諸商品ノ價直内
外産ヲ問ハス共ニ騰貴スベシ即チ之ヲ買之ニ拂フニ當リテ
通用紙幣既ニ價格ヲ減シタレバ其額數自カラ巨大ニ至ラザル
ヲ得ス諸物價變換シ且フ債主生ヲ聊ンセス茲ニ至リテ衆庶ノ
困苦極マレリト云フベシ殊ニ減價シタル紙幣ニテ拂ヲ受クル
定額ノ歳入ヲ有スル人ニ在リテハ額面ノ紙幣全價ヲ保ケ難キ
ヲ以テ實ニ現ノ難渋ナリ九州ニ於ケル殆ント全年ニ涉リタル
當年ノ内証ニ係ル政府ノ費額及ヒ士族ノ蜂起ヲ預防スル為ニ
諸縣ニ於ケル費額ハ既ニ巨大ナリシガ猶ホ陸續トシテ茲ニ止
マラザラントス然リト雖氏前論ノ紙幣ヲ發行セシヨリ寧口金
庫準備金(正貨)ヲ散スルニ加カザルナリ尚又タ今也政府ノ許
可ヲ受ケタル十八個ノ國立銀行ヨリ發行シタル紙幣ハ政府ヨ
リ発行シタル紙幣ト共ニ通用上相競フノ勢アリ加之此紙幣ノ

抵當ハ政府ノ公債証書ニ在リテ隨時交換スベキ準備ノ正貨ニ
アラザルヲ以テ其紙幣ハ徒ニ從來ノ不換紙幣ノ額ヲ増加スル
ニ過キザルノニ
外國ニ向ケシ米穀ノ價金ハ大蔵省ニ輸サレシテ徒ニ鉄甲船
購求ノ代價トナレリ者ヨ目今日本政府ノ費ス巨額ノ財用ハ奢
侈ニシテ濫ト云ハザルヲ得ヌ如何トナレバ若シ日本政府善ク
隣交ヲ修セバ何ソ外寇ヲ患ヘシ支那朝鮮固ヨリ恐ルニ足ラ
ス鉄甲船亦タ用ユル所ナカルベシ
若シ報知新聞ノ謂フ所虚ナラスシテ巨額ノ紙幣ヲ發行シ國內
ヲ脅迫スルアラバ國家ノ不幸之レヨリ大ナクナレ而シテ日本
ノ為ニ計ル者ハ大ニ力ヲ出シテ之ヲ辯駁セシバアラザルナ
リ



大
藏
卷